

札幌市企業経営動向調査

問い合わせ先：札幌市経済観光局産業振興部経済企画課（Tel211-2352）

- 1.本調査は、札幌市が今後の産業振興施策推進に必要な資料を得るため実施するものです。
2.個々の企業の回答内容を公表したり、他の目的に使用することはありません。
3.本社等の場合は全社での判断、支店等の場合は貴支店のみの判断を記入下さい。
4.R5下期(R5.10月～R6.3月)のうち、**R6.3月の状況については、見込み**でご回答ください。
5.**太線の枠内にご記入ください。**
6.**令和6年2月20日(火)まで(必着)**に、同封の返信用封筒にて返送してください。

この欄は記入しないでください			
整理番号			
市内 1	市外 2		
大 1	中小 2	小 3	

企業名 代表者氏名	所属・役職 記入者名 連絡先		Tel	-	-
業種(○印)	1. 建設業 2. 製造業 3. 卸売業 4. 小売業 5. 金融・保険・不動産業 6. 飲食・宿泊サービス業 7. 運輸業 8. 情報通信業 9. その他サービス業				
事業内容					
資本金	万円 ※最近期の決算期末の数字		本社 所在地	○印をつけてください 市 内 市 外	
常用 従業員数 ※常用パート を含む	全事業所 ※最近期の決算期末の数字 うち貴事業所分 人 人		※企業名に変更あるいは宛先に誤りがある場合は、封筒の宛先に記載されている企業名を下欄にご記入ください。 (旧企業名)		

【札幌市内の景気】

【回答欄】

- 問1. (1) R5年度下期(R5年10月～R6年3月)は、R5年度上期(R5年4月～R5年9月)に比べ
1. 上昇している 2. 横ばい 3. 下降している 4. 不明
- (2) R6年度上期(R6年4月～R6年9月)は、R5年度下期(R5年10月～R6年3月)に比べ
1. 上昇する見通し 2. 横ばい 3. 下降する見通し 4. 不明

【貴社の属する業界の景気】

- 問2. (1) R5年度下期(R5年10月～R6年3月)は、R5年度上期(R5年4月～R5年9月)に比べ
1. 上昇している 2. 横ばい 3. 下降している 4. 不明
- (2) R6年度上期(R6年4月～R6年9月)は、R5年度下期(R5年10月～R6年3月)に比べ
1. 上昇する見通し 2. 横ばい 3. 下降する見通し 4. 不明

【貴社の経営状況】

- 問3. (1) R5年度下期(R5年10月～R6年3月)の貴社の経営は、前年度同期(R4年10月～R5年3月)に比べ
1. 経営が好転している 2. 経営がやや好転している 3. 経営は変わらない
4. 経営がやや悪化している 5. 経営が悪化している
- (2) R6年度上期(R6年4月～R6年9月)の貴社の経営は、前年度同期(R5年4月～R5年9月)に比べ
1. 経営が好転する見通し 2. 経営がやや好転する見通し 3. 経営は変わらない
4. 経営がやや悪化する見通し 5. 経営が悪化する見通し

【貴社の売上高(生産高)】

- 問4. (1) R5年度下期(R5年10月～R6年3月)は、前年度同期(R4年10月～R5年3月)に比べ
1. 増加している 2. 横ばい 3. 減少している
- (2) R6年度上期(R6年4月～R6年9月)は、前年度同期(R5年4月～R5年9月)に比べ
1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

【貴社の経常利益】

- 問5. (1) R5年度下期(R5年10月～R6年3月)は、前年度同期(R4年10月～R5年3月)に比べ
1. 増加している 2. 横ばい 3. 減少している
- (2) R6年度上期(R6年4月～R6年9月)は、前年度同期(R5年4月～R5年9月)に比べ
1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

【貴社の資金繰り】

問6. R5年度下期(R5年10月～R6年3月)の貴社の資金繰りは

1. 楽である 2. どちらでもない 3. 苦しい

..... ☐

【貴社の設備投資】

問7. (1) これまでの1年間(R5年2月～R6年1月)に

1. 投資した 2. しなかった

..... ☐

(2) 投資した主な理由は

1. 設備の更新・改修 2. 売上(生産)能力拡大 3. 経営多角化
4. 研究開発 5. 合理化・省力化 6. その他

..... ☐

(3) 今後1年間(R6年2月～R7年1月)に

1. 投資する 2. しない

..... ☐

(4) 投資する主な理由は

1. 設備の更新・改修 2. 売上(生産)能力拡大 3. 経営多角化
4. 研究開発 5. 合理化・省力化 6. その他

..... ☐

【貴社の従業員数(常用雇用者数)】

問8. (1) R6年3月末現在は、前年同月(R5年3月末)に比べ

1. 増加する見込み 2. 横ばい 3. 減少する見込み

..... ☐

(2) R6年9月末現在は、前年同月(R5年9月末)に比べ

1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

..... ☐

【人材の確保状況】

問9. 貴社における新たな人材の確保状況についてお答えください(当てはまるもの1つ)。

1. 確保できている
2. 確保する必要がない(人材が充足しているため)
3. 確保できていない(確保したいが、人材の応募がないため)
4. 確保できていない(人材の応募はあるが、よい人材がいないため)
5. 確保できていない(新たに人材確保する余裕がないため)

..... ☐

【経営上の問題点】

問10. 貴社にとって、現在もっとも重要な課題と思われるものは何ですか(当てはまるもの3つ以内)。

1. 売上不振 2. 収益率の低下 3. 諸経費の増加 4. 人手不足
5. 販売価格の下落 6. 仕入価格の上昇 7. 設備不足 8. 売掛金の回収難
9. 資金調達難 10. 在庫過剰 11. 情報不足
12. その他(具体的に)

☐	☐
☐	☐

【経営改善等に関する企業の取組内容】

問11. 貴社において、経営改善等を図る上で、取り組んでいる、または取り組もうとしている事項についてお答えください(当てはまるもの全て)。

1. 新製品・サービス開発や新分野進出、新市場への販路拡大
2. 海外展開(輸出入など海外企業との取引、外国人材活用など)
3. DX(ITを活用した生産性の向上や高付加価値化、デジタルによるビジネス変革など)
4. クリエイティブ(デザインやコンテンツ)を活用した高付加価値化
5. SDGs※に資する企業活動
6. 脱炭素に資する企業活動
(省エネルギーに資する設備投資や再生可能エネルギーに関する商品の開発等)
7. 同業種・異業種の企業との連携
8. 教育・研究機関との連携
9. 特に取り組むつもりはない
10. その他()

☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐

※ SDGs:2015年の国連サミットにて全会一致で採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のこと。

ウクライナ情勢の悪化等により物価が高騰し、全国的に消費者や企業への影響が長期化している状況です。市内企業における現状を把握するため、貴社の状況について、以下の質問にご回答ください。

A diagram consisting of a square with a thick black border. A dashed line extends horizontally to the left from the middle of the square's left side.

【トレンド・トピック 質問項目(特定質問項目) ② 人手不足の状況について】

札幌市は、少子高齢化の進展や若年層の道外流出等により、2021年に初めて人口減少局面に転じました。市場規模の縮小や生産年齢人口の減少による労働力不足が大きな課題となっている中で、持続的な企業活動を推進していくため、貴社の人材の確保状況について、以下の質問にご回答ください。

問13. (1) 貴社における業務に対して、どの程度人手が足りていない状況ですか。

1. 若干足りていない(1割以下)
2. かなり足りていない(2割～4割)
3. 全く足りていない(5割以上)
4. 人手は不足していない → 問13(4)へ

.....	
-------	--

(2) 問13の(1)で4.「人手は不足していない」以外を選択した方に伺います。
貴社において、人手が不足している原因は何ですか(当てはまるもの全て)。

1. 新規の人材獲得が困難(求人に応募がない)
2. 新規の人材獲得が困難(市外・道外への人材の流出)
3. 従業員の離職の増加
4. 事業の拡大(事業所の新設や受注・販売量の増加等)
5. 必要なスキルや資格・知識を持った人材がおらず、配置転換で調整ができない
6. 省力化・合理化(機械化、自動化、IT・AIの活用等)ができない
7. 業務プロセスの見直しができない
8. 配置転換を希望しない又は対応できない従業員の増加
9. 出産・育児・介護のための休職者・短時間勤務者の増加
10. その他()

(3) 問13の(1)で4.「人手は不足していない」以外を選択した方に伺います。
人手不足による経営への影響は何ですか(当てはまるもの全て)。

1. 既存事業の縮小
2. 既存事業の運営への影響(対応の遅れや製品・サービスの品質の低下等)
3. 既存事業の拡大が困難
4. 技術・ノウハウの伝承が困難
5. 新規事業の実施が困難
6. 抜本的な業務プロセスの見直し
7. 省力化・合理化(機械化、自動化、IT・AIの活用)への投資の拡大
8. 外部委託の促進
9. 特になし
10. その他()

(4) 多様な人材の活躍に向けてどのような人材の活躍の場を広げたいと考えていますか
(当てはまるもの全て)。

1. 女性
2. 高齢者
3. 外国人
4. 障がい者
5. 特に考えていない
6. その他()

(5) 人材確保や人手不足解消のために必要な行政の支援は何ですか(当てはまるもの全て)。

1. 業界のイメージの向上
2. 自社の知名度向上に資する広報
3. 就職誌や就職サイトへの掲載費用の負担
4. SNS等を活用した採用ノウハウの強化支援
5. 従業員の賃金の引き上げに係る支援
6. 働き方改革に取り組むための相談窓口の常設
7. 働き方改革に取り組むためのセミナーや出前講座の開催
8. 働き方改革に取り組むための専門家派遣によるコンサルティング支援
9. 学生との交流の場の構築
10. 業務の省力化・合理化に係るノウハウの提供や費用の負担
11. 教育訓練・能力開発(リスキリング)に係るノウハウの提供や費用の負担
12. その他()

質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。